

会員および関係機関の皆様へ

残暑の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当協議会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協議会では今年度の研修内容としまして「地域包括ケアシステムが構築される中で、通所介護・通所リハ事業所の役割を発揮する」と題し、研修会を企画して参りました。

今回は、平成30年の医療・介護同時改定の動向、2025年に向けた地域包括ケアシステム構築における役割分担。「医療」と「介護」がいかに連携すべきか、そのヒントが示されている「診療報酬」、「介護報酬」をわかり易く解説していただきます。講演内容は通所リハ・通所介護事業所にとどまらず、医療保険、介護保険に関係するすべての事業所、行政の方に聴いていただきたいものです。

我が国は、2025年からの少子・超高齢・多死社会、そして人口減少社会・低成長時代に向かって財源不足による「社会全体のしくみを変える」瀬戸際・岐路・崖っぷちに立つところまで追い込まれました。「大きく変わる社会のしくみ」の中にあるものに「医療・介護・福祉産業」、「地域・自治会隣組等産業」があります。

本講演会で提供される情報は地方では触れる機会の少ないものだと考えます。お忙しいとは存じますが、関係職員の研修会への参加にご配慮いただけますようお願い申し上げます。

出席者につきましては、別紙申込書にご記入の上、平成29年9月4日までにFAXにて送付いただきますようお願い申し上げます。

高知県通所サービス事業所連絡協議会
会長 大奈路 智史

講演内容



竹重 俊文 氏

一般社団法人地域ケア総合研究所 所長
認定NPO法人市民福祉団体全国協議会理事

1) 演題

2025年に向けた地域包括ケアシステム構築における役割分担を考える
～事業者・専門職が地域の行政・包括・社協・自治会等地域住民とどのように向き合うのか～

2) 講演内容の概要

- ①大きく変わる社会のしくみ
- ②大きく変わる社会保障制度
- ③必要な医療・介護・福祉とは
- ④地域アセスメントとは
- ⑤地域の連携・協働・統合の実践例



酒井 麻由美 氏

保健・医療・福祉サービス研究会 診療・介護報酬指導講師
株式会社ヘルスケア経営研究所 副所長

1) 演題

2018年同時改定の行方と対応策
～医療介護連携の重要性と連携強化の具体策～

2) 講演内容の概要

- ①2018年同時改定の概要
- ②医療介護連携の重要性
- ③医療機関が知っておくべき介護報酬の仕組み
- ④介護事業所が知っておくべき診療報酬の仕組み
- ⑤医療介護連携の具体策、取り組みポイント